

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事をしない、させない、許さない学校にします。
- 4 私たちは、積極的に地域に学校を公開します。

不祥事根絶のための行動計画

2018年度(平成30年度)4月
 福山市立芦田中学校
 作成責任者 校長 鍋島 義治

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修において、通知等の伝達で終わっており、タイムリーに関連した研修を行うことが不足している。 ○年間計画に従って研修を進めているが、グループ討議や体験的な内容を含んだ研修まで深めきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員が研修に係る様、方法や内容等を改善する。 ○サービス研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。 ○自分のこととして受け止められる研修にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員が分担し、研修項目ごとに講師となり、年間の研修計画に従って研修を進める。グループ討議やより身近な事案を選択するなど内容を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修後、アンケート調査を行い、方法や内容等の改善をしていく。 ○学期に1回、サービス研修についてのアンケート調査を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員個人の技量に依存しがちである。 ○教職員同士と主任主事との間で報告・連絡・相談が行われているが十分徹底しきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○主任・主事体制の確立を図る。 ○学年会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主任・主事が確実に学年の状況や取り組み等の進捗状況を報告する体制をつくる。 ○週に1回、職朝の際、全教職員で情報交換を行い、生徒の状況や学年の取組の進捗状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会・企画委員会の中で状況把握をしていく。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が不十分である。 ○カウンセラー相談窓口の認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 ○校区の小学校と連携し、相談体制の周知と確立を行う。 ○学校日より、HPで保護者等に周知するとともに、校舎内の掲示板にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末懇談会において、相談窓口の案内プリントを配付するとともに、保護者から体罰、セクハラについて聴取する。 ○SC（スクールカウンセラー）やSCP（学校相談員）などからアドバイスを受けて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。